

「夢・挑戦・感動」「学ぶ心」 校長 高梨 哲夫
 本校は昭和37年に創立し、『自立・協調・実践』を校訓とし、「文武両道」「質実剛健」の校風で、工業技術者の育成に努めて参りました。同窓生数はすでに1万1千名を超え、さまざまな分野で世界を含め県内外で活躍しており、皆様の期待に十分に応えてきたものと確信しております。
 創立57年目を迎え、卒業式も54回を数え、改めて半世紀の歴史をかみしめ建学時の精神を再認識し、「夢・挑戦・感動」「学ぶ心」を掲げ「実社会で通用する人材の育成」を目指します。特に、「ものづくり教育」を推進しており、ものづくりを通じた「人づくり・人間教育」に尽力いたします。生徒一人ひとりが夢を持ち、その実現に向けて挑戦し、そして感動する。そこには「学ぶ心」をしっかり持つことが大切です。それが、実社会で通用する「人材」が育つものと確信しております。家庭・地域・学校との連携を密にして、生徒がそれぞれの思いを実現できるよう努めます。皆様方の御支援、御協力をお願いいたします。

校訓 『自立・協調・実践』

実社会で通用する
人材の育成

総合評価計画について

◎意義 本計画は、今年度本校が重点的に取り組む内容を掲げたものです。この目標を達成するため努力します。

◎情報の発信 本校のホームページにて最新の状況をお知らせし、開かれた学校づくりを推進します。

※アドレス <https://nihonmatsu-th.fcs.ed.jp/>

◎評価 学校評議員、保護者等の意見を踏まえて、年度末に総合的な評価をします。

◎意見要望 総合評価全体は、「二本松工業高校学校評価委員会」が担当します。御意見・御要望をお寄せください。

専門性の育成

安全性の育成

社会性の育成

努力目標 I
確かな学力を身につかせます

- ①基礎・基本の定着を図ります。
・少人数授業やティームティーチング指導を充実させ、基礎・基本の定着を図る。
・わかる授業を実践する。
- ②学習する姿勢を身につけます。
・チャイム to チャイムを実践する。
・興味関心・意欲を高める授業を進め、自ら学習する姿勢を持つよう工夫する。
・自主学習の成果を調査し、個々の実力を把握する。
- ③指導力向上に努めます。
・校内研修や校内公開授業を通して、授業力の向上とアクティブラーニングの視点で授業改善を追求する。
・ICTを活用した授業について研究を進める。
- ④工業分野における学習成果を地域社会に公開します。

努力目標 II
ものづくり教育を充実させます

- ①松工マイスターを目指し、国家資格や各種検定試験に挑戦させます。
・松工マイスター、ジュニアマイスターを意識し、自らが年間の目標を設定して資格取得に計画的かつ積極的に取り組む。
- ②検定試験や資格取得の指導法と講習を充実させます。
・資格指導法を工夫し、生徒に合った学習法を見出し、資格取得を支援する。
- ③資格取得の動向を地域社会に発信しアピールします。
- ④ものづくりを通して、各種競技大会で上位大会を目指します。
・ロボット競技大会、相撲ロボット大会、高校生ものづくりコンテスト、マイコンカーラリー大会、溶接競技大会などの上位大会を目指す。

努力目標 III
規範意識を身につかせます

- ①規範意識を高め、規律ある生活態度を身につかせます。
・時、場所、状況に応じた返事や態度、言葉遣いができるように指導する。
・学校いじめ防止基本方針を推進する。
- ②安全意識を高め実習中の事故をゼロにし、安全教育の指導をします。
・服装、身だしなみに重点を置き、安全意識の高揚と自己管理能力を高める。
・安全教育の一環として、日常生活や実習などにおいて、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5Sの重要性を理解させる。
- ③情報モラルの向上を図ります。
・ネット社会に対応した、情報取り扱い、モラルについて指導の徹底を図る。

努力目標 IV
キャリア形成を支援します

- ①早期に進路意識を高揚させ、実社会で役立つ優れた人材を育成し、100%の希望進路実現を目指します。
・入学時から段階を踏んだ進路指導や実践的支援を行うことで、キャリア形成を進める。
- ②進路希望に沿った適切な学習ができるよう支援します。
・自分の進路を入学当初から自ら考え学習に取り組めるよう三者面談を通して保護者との連携を密にして情報の共有化を図る。
- ③職場開拓を行い、企業との信頼関係を築きます。
・企業訪問を積極的に行い、産学の連携を深める。
・専門高校における地域産業連携事業、外部講師講座、企業見学、進路説明会、インターシップなどの充実を図る。

努力目標 V
豊かな心をはぐくみます

- ①礼節を重んじ、人としてのモラルの向上に努めます。
・挨拶を励行する。
- ②教室の清掃及び校舎内外の美化に努めます。
・ゴミの分別美化活動、奉仕作業などにより公共心を養う。
- ③学校行事などへの積極的な取り組みを行います。
・行事へ積極的に参加することで、豊かな心や協力・協働する心を培う。
- ④カウンセリングを通し、生徒の心のケアに努めます。
- ⑤図書館、視聴覚室などの利用をとおして、文化を理解し尊重する態度の育成に努めます。
- ⑥芸術鑑賞を通じて豊かな感性の育成に努めます。

努力目標 VI
健やかな体をはぐくみます

- ①日々の活動の中で、たくましい体の育成を目指します。
 - ②部活動で上位大会を目指します。
・継続的な練習の積み重ねにより、技術の向上を図り上位大会出場を目指す。
- 不祥事防止について**
- ①教職員の服務規律を徹底します。
・教職員が高い倫理観と自律心を保持し、使命感や誇りを高め、服務倫理意識の徹底を図る。